

令和7年4月17日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会  
(公印省略)

「感染症発生動向調査情報（第15週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

<http://www.iph.pref.osaka.jp/>

**【問合せ先】**

大阪府医師会・地域医療1課  
TEL 06-6763-7012

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

## 2025年 第15週（4月7日～4月13日）

### 今週のコメント

～伝染性紅斑～ 咳エチケット、手洗いが重要

#### 定点把握感染症

##### 「伝染性紅斑 増加」

第15週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,230例であり、前週比19.5%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、伝染性紅斑、突発性発しんの順で、定点あたり報告数はそれぞれ8.35、1.34、0.91、0.55、0.24である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比18%増の1,561例で、南河内12.00、中河内10.05、泉州9.00、北河内8.83、大阪市南部8.35であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は49%増の251例で、堺市1.94、泉州1.85、大阪市南部1.82である。

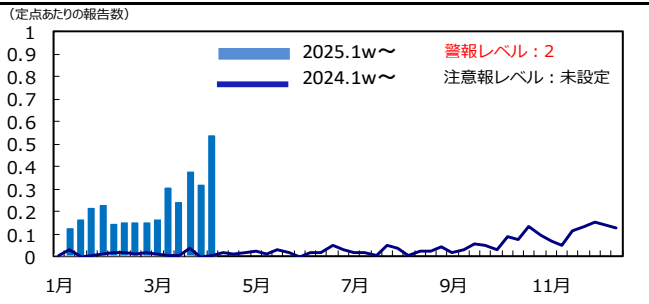
RSウイルス感染症は9%増の171例で、大阪市北部2.77、北河内1.30、泉州1.20であった。

伝染性紅斑は65%増の102例で、大阪市北部1.15、豊能0.73、三島0.71である。前週と比べ、10ブロックで増加していた。

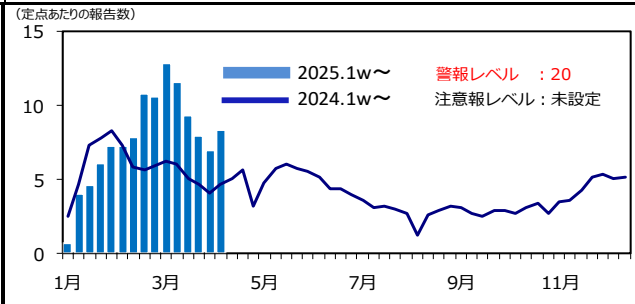
インフルエンザは11%減の288例で、定点あたり報告数は0.99である。北河内1.95、南河内1.46、中河内1.21、大阪市東部1.14、大阪市北部1.05であった。

新型コロナウイルス感染症は29%増の501例で、定点あたり報告数は1.72である。大阪市南部2.69、大阪市東部2.05、豊能1.91、北河内・泉州1.76であった。

#### 伝染性紅斑



#### 感染性胃腸炎



※2025年第15週以降、定点医療機関数の変動により、警報レベル・注意報レベルの数値は参考値

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2025年 第15週4月7日～4月13日）

第15週の順位	第14週の順位	感染症	2025年 第15週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2024年 第15週の 定点あたり 報告数	2025年第15週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	8.35	18%増	4.63	1歳_13%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.34	49%増	2.58	5歳_15%
3	3	RSウイルス感染症	0.91	9%増	3.95	1歳未満_40%
4	4	伝染性紅斑	0.55	65%増	0.01	4歳_21%
5	6	突発性発しん	0.24	13%増	0.28	1歳_42%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.99	11%減	1.29	20歳以上_22%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	1.72	29%増	2.96	80歳以上_16%

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

## 第15週のコメント

～麻しん～ ワクチンで予防可能な感染症です。

全数把握感染症																			
麻しん																			
<p>麻しん（はしか）は麻しんウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発しん性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発しんが出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力（一人の患者が12～18人に感染伝播）のため、麻しん発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻しん排除国に認定されている。</p> <p>一方で、2024年以降はアフリカやヨーロッパ諸国、日本との行き来が多い東南アジア諸国（ベトナム、タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシアなど）での流行が認められ、国内でも流行地域への渡航時の感染が疑われる事例が報告されている。症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発しん等）があり、1）1か月以内に麻しん患者と接触していた場合、2）麻しん流行国に最近の旅行歴がある場合、麻しんを疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻しん疑いを伝え、指示に従うことが重要である。</p> <p>麻しんはワクチン（1歳以上で2回）で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。</p> <p><a href="#">麻しんとは「国立健康危機管理研究機構（旧 国立感染症研究所）」</a>  <a href="#">麻しん情報（大阪府感染症情報センター）</a></p>	<p><b>年別累積報告数</b></p> <p>大阪府は2025年第15週現在            全国は2025年第14週現在</p> <table border="1"> <caption>年別累積報告数 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>大阪府累計</th> <th>全国累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>2023</td> <td>5</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>11</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>2025</td> <td>12</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	年	大阪府累計	全国累計	2021	0	5	2022	0	5	2023	5	25	2024	11	55	2025	12	70
年	大阪府累計	全国累計																	
2021	0	5																	
2022	0	5																	
2023	5	25																	
2024	11	55																	
2025	12	70																	

表 2. 大阪府全数報告数（2025年 第15週4月7日～4月13日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 ( ) 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
4 類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	1								1	27
	レジオネラ症（ポンティアック熱型）	1								1	
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	1								1	27
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	2								15
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1								128
	梅毒	14		1	1		2			10	457
	百日咳	57	11	4	11	5	4	1	8	13	514
	麻しん	2				1				1	12
結核 (2025年2月分)	<b>結核 新登録患者数：46名</b> (内 肺・喀痰塗抹陽性 21名) (府内累積報告数 136名、内 肺・喀痰塗抹陽性 55名)										

(2025年4月15日 集計分)

感染症発生動向調査情報 (ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数)

2025年4月15日

第15週 2025年4月7日～2025年4月13日

(ブロック別)

(年齢別)

ブロック名		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	合計
		豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部	
定点数	小児科	22	17	23	19	16	17	20	13	10	13	17	187
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	52
	基幹	2	2	2	2	2	2	2	4				18
	インフルエンザ	35	27	38	29	24	25	33	20	14	21	26	292
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	11	9	30	10	13	9	24	36	10	8	11	171
	咽頭結膜熱	2	1	1	8	7	4	4	5	2	1	3	38
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	15	33	29	20	33	37	20	8	12	31	251
	感染性胃腸炎	168	140	203	191	192	99	180	100	69	77	142	1561
	水痘	6	2	6	0	4	4	6	0	3	1	3	35
	手足口病	1	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	5
	伝染性紅斑	16	12	16	7	7	4	4	15	4	8	9	102
	突発性発しん	6	3	9	8	1	2	4	4	3	1	4	45
	ヘルパンギーナ	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	1	5
	流行性耳下腺炎	0	1	3	2	4	0	1	0	0	0	1	12
把握科 定点疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	流行性角結膜炎	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4
合計		223	185	301	258	248	156	262	183	99	110	205	2230
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	マイコプラズマ肺炎	0	2	0	0	0	0	0	1				3
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1	1	1	1	4	2	0	2				12
イ定	インフルエンザ	20	11	74	35	35	11	21	21	14	24	22	288

年齢区分	6ヶ月未満	12ヶ月未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳から14歳	15歳から19歳	20歳以上	合計
	疾病名														
R	38	31	52	30	7	4	1	0	1	0	0	4	2	1	171
咽	1	2	10	3	6	2	2	5	2	0	0	1	0	4	38
A	0	5	14	13	21	29	37	23	20	24	16	30	6	13	251
感	24	98	201	156	152	154	151	81	83	85	69	167	30	110	1561
水	1	0	2	0	4	1	4	1	2	3	3	13	1	0	35
手	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	5
伝	0	0	5	6	11	21	18	13	8	10	5	5	0	0	102
突	1	14	19	7	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	45
へ	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
流	0	0	0	0	2	1	3	2	0	0	2	2	0	0	12
急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
流	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
合計	65	150	307	216	206	215	217	125	117	122	95	222	39	134	2230
細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロ	0	0	2	1	2	1	2	2	0	0	1	0	0	1	12
イ	4	7	25	13	22	24	12	18	20	13	9	35	22	64	288

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2025年4月15日

(ブロック別)

第15週 2025年4月7日～2025年4月13日

ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合計	上位5疾患順位		
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部											
定点数	小児科	22	17	23	19	16	17	20	13	10	13	17	81	53	17	11	8	9	8	187		
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52		
	基幹	2	2	2	2	2	2	2	4			8	4	2	1	2	0	1	18			
	インフルエンザ	35	27	38	29	24	25	33	20	14	21	26	129	81	25	17	13	14	13	292		
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	▽ 11	▲ 9	30	▽ 10	▼ 13	▽ 9	△ 24	△ 36	△ 10	8	△ 11	56	△ 65	▽ 9	▽ 7	3	▽ 3	17	171	3	
	咽頭結膜熱	△ 2	△ 1	▽ 1	▽ 8	△ 7	△ 4	▽ 4	△ 5	2	▽ 1	△ 3	13	11	△ 4	▽ 2	0	0	0	38		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	△ 13	△ 15	△ 33	29	20	△ 33	△ 37	▲ 20	△ 8	▽ 12	△ 31	△ 86	△ 71	△ 33	16	▽ 1	▲ 5	11	△ 251	2	
	感染性胃腸炎	△ 168	140	△ 203	△ 191	△ 192	▽ 99	180	△ 100	▲ 69	△ 77	142	592	△ 388	▽ 99	△ 117	△ 56	78	△ 72	1561	1	
	水痘	△ 6	2	△ 6	▽ 0	▽ 4	4	△ 6	▽ 0	▲ 3	1	△ 3	12	▽ 7	4	▼ 0	0	△ 4	△ 5	▽ 35		
	手足口病	△ 1	0	▽ 0	△ 2	▽ 0	▼ 0	1	0	0	△ 1	0	▽ 1	△ 1	▼ 0	0	0	0	0	▽ 0	▼ 5	
	伝染性紅斑	△ 16	△ 12	16	△ 7	△ 7	△ 4	▲ 4	▲ 15	△ 4	△ 8	▲ 9	△ 35	△ 36	△ 4	△ 7	△ 1	△ 9	△ 4	△ 102	4	
	突発性発しん	6	△ 3	△ 9	8	▽ 1	△ 2	▼ 4	4	△ 3	▽ 1	▲ 4	12	△ 12	△ 2	7	△ 1	▲ 4	△ 4	45	5	
	ヘルパンギーナ	0	1	▼ 0	0	0	0	0	△ 3	0	0	1	1	▲ 4	0	0	0	0	0	△ 5		
	流行性耳下腺炎	0	1	▲ 3	2	▲ 4	0	△ 1	0	▽ 0	0	△ 1	▲ 7	1	0	▽ 1	0	0	▲ 2	▲ 12		
	把握科 疾患	急性出血性結膜炎	▽ 0	0	0	0	0	△ 1	0	0	0	0	0	0	△ 1	0	0	0	0	△ 1		
流行性角結膜炎		▽ 0	△ 1	▽ 0	△ 1	0	0	△ 1	0	0	△ 1	0	△ 2	△ 1	0	△ 1	0	▽ 0	▽ 0	4		
合計		△ 223	185	△ 301	258	248	156	△ 262	△ 183	△ 99	△ 110	205	817	△ 597	156	158	△ 62	103	△ 115	2230		
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マイコプラズマ肺炎	0	2	▽ 0	0	0	0	0	1			0	△ 1	0	0	2	0	▽ 0	▼ 3			
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	▽ 1	▽ 1	1	1	△ 4	△ 2	0	2			4	▲ 2	△ 2	△ 1	▽ 1	0	1	△ 12			
イ定	インフルエンザ	▼ 20	▼ 11	74	△ 35	35	▼ 11	▽ 21	21	14	△ 24	22	108	81	▼ 11	18	▼ 2	14	27	288		

△▽・・・前週比20%以上増減 ▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計 2025年14週(03月31日～04月06日)

1～4類 (全数把握)	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ペスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ (A/H1N1)	0
急性灰白髄炎	0
結核	157
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコ ナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限 中東呼吸器症候群 (病原体がベータコ ナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限	0
鳥インフルエンザ (H5N1)	0
鳥インフルエンザ (H7N9)	0
コレラ	0
細菌性赤痢	0
腸管出血性大腸菌感染症	7
腸チフス	0
パラチフス	1
E型肝炎	12
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	0
A型肝炎	3
エキノコックス症	1
エムボックス	1
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサナル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレ ボウイルス属SFTSウイルスであるものに限	0
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	1
デング熱	1
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ (H5N1 及びH7N9を除く。)	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	1
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ポツリヌス症	0
マラリア	1
野兔病	0
ライム病	0
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	27
レプトスピラ症	0
ロッキー山紅斑熱	0

5類感染症の一部 (全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	2
ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	24
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0
急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ 媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ クリプトスポリジウム症	6
クローイツフェルト・ヤコブ病	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2
後天性免疫不全症候群	21
ジアルジア症	10
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
侵襲性髄膜炎菌感染症	11
侵襲性肺炎球菌感染症	0
水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)	65
先天性風しん症候群	7
梅毒	0
播種性クリプトコックス症	195
破傷風	1
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0
百日咳	0
風しん	722
麻しん	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	6
	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	5667	1.20
COVID-19	10132	2.14
R Sウイルス感染症	2404	0.80
咽頭結膜熱	750	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5148	1.71
感染性胃腸炎	19251	6.41
水痘	815	0.27
手足口病	115	0.04
伝染性紅斑	1889	0.63
突発性発しん	648	0.22
ヘルパンギーナ	27	0.01
流行性耳下腺炎	102	0.03
急性出血性結膜炎	33	0.05
流行性角結膜炎	537	0.77
細菌性髄膜炎	10	0.02
無菌性髄膜炎	6	0.01
マイコプラズマ肺炎	107	0.22
クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	1	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	86	0.18

定点数	
インフルエンザ/COVID-19	4726
小児科	3003
眼科	700
基幹病院	480

2月(月報)	報告数	定点当り
性感染症・基幹定点		
性器クラミジア感染症	2018	2.07
性器ヘルペスウイルス感染症	741	0.76
尖圭コンジローマ	441	0.45
淋菌感染症	531	0.54
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1256	2.62
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	78	0.16
薬剤耐性緑膿菌感染症	5	0.01
定点数		
STD	977	
基幹病院	479	

注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。

## 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ブロック別・年齢別患者発生数

(ブロック別)

第15週 2025年4月7日～2025年4月13日

ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市 北部	09 大阪市 西部	10 大阪市 東部	11 大阪市 南部	合計
COVID-19定点数	35	27	38	29	24	25	33	20	14	21	26	292
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	67	36	67	42	40	33	58	33	12	43	70	501
疾病名	定点あたり報告数											
新型コロナウイルス感染症	1.91	1.33	1.76	1.45	1.67	1.32	1.76	1.65	0.86	2.05	2.69	1.72
14週	1.00	1.19	1.59	1.30	0.88	1.83	1.27	0.74	1.07	1.95	1.38	1.31
13週	2.34	2.07	2.56	2.23	1.67	2.10	1.97	1.32	1.27	2.76	1.73	2.08
12週	1.80	2.30	2.90	1.13	2.29	2.45	2.45	1.58	1.53	3.14	2.46	2.23
11週	1.49	1.48	3.27	1.70	2.46	3.28	2.94	1.05	1.00	2.43	1.92	2.21
10週	2.03	1.56	3.12	2.87	3.42	2.86	2.94	2.16	0.87	1.86	2.69	2.50

(性別・年齢別)

年齢区分	0歳	1歳 から 4歳	5歳 から 9歳	10歳 から 19歳	20歳 から 29歳	30歳 から 39歳	40歳 から 49歳	50歳 から 59歳	60歳 から 69歳	70歳 から 79歳	80歳 以上	合計
新型コロナウイルス感染症	報告数											
男	20	35	11	13	21	14	16	25	18	35	36	244
女	9	28	11	16	20	23	20	35	19	30	46	257
計	29	63	22	29	41	37	36	60	37	65	82	501
	5.8%	12.6%	4.4%	5.8%	8.2%	7.4%	7.2%	12.0%	7.4%	13.0%	16.4%	

## 急性呼吸器感染症（ARI）ブロック別・年齢別患者発生数

ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市 北部	09 大阪市 西部	10 大阪市 東部	11 大阪市 南部	合計
ARI定点数	35	27	38	29	24	25	33	20	15	21	26	293
疾病名	報告数											
ARI感染症	1,033	571	1,573	1,226	1,174	920	953	702	476	493	799	9,920
疾病名	定点あたり報告数											
ARI感染症	29.51	21.15	41.39	42.28	48.92	36.80	28.88	35.10	31.73	23.48	30.73	33.86

(性別・年齢別)

年齢区分	0歳	1歳 から 4歳	5歳 から 9歳	10歳 から 14歳	15歳 から 19歳	20歳 から 29歳	30歳 から 39歳	40歳 から 49歳	50歳 から 59歳	60歳 から 69歳	70歳 から 79歳	80歳 以上	合計
ARI感染症	報告数												
男	677	2,197	779	369	105	150	136	118	132	111	147	176	5,097
女	521	1,903	705	298	107	188	174	167	211	163	185	201	4,823
計	1,198	4,100	1,484	667	212	338	310	285	343	274	332	377	9,920
	12.1%	41.3%	15.0%	6.7%	2.1%	3.4%	3.1%	2.9%	3.5%	2.8%	3.3%	3.8%	